

# English for Legal Purposes

## ■English for Legal Purposes とは…？

English for Legal Purposes の講義では、日常英語から、基礎的な法律英語まで学びます。この講義は Jackie の担当で、参加者を 3 つのクラスに分けた少人数授業となっています。参加者同士のコミュニケーションも図れて、仲良くなれる内容となっています。Jackie がたくさんのテーマに合わせて、ゲームも交えながら進めてくれるので、とても楽しく英語を学びます。日本の大学のような一方的な聴講形式ではなく、各人の参加型の講義です。

□今年度 English for Legal Purposes で扱ったトピック

- Legal essays
- Problem solving tasks
- Case notes
- Legal presentations
- Moots
- Practical legal drafting
- Legal debates
- Court observation reports



## ■English for Legal Purposes を受けると…？

この講義では、まず、Legal Essay の書き方をはじめとするリーガルライティングなどの法律英語を、ネイティブの先生に基礎から学びます。法学研修全般において、このスキルを習得することは非常に重要です。

また、この講義を受けて特に身につく力は2つ、英語のリスニング力と、スピーキング力です。

少人数のクラスで、双方向で講義が進められるため、他の講義では中々物怖じしてしまう人も、毎回発言の機会があり、自然と英語で話すクセがつきます。また、自分の意見を言うためには、しっかりと相手の発言を理解することが必要ですが、これも習慣づけられます。この講義では法律専門用語を使うことが必ずしも多くはなく、日常的に耳にする単語も結構学ぶことができます。毎日、リスニング、スピーキングを繰り返し、英語を使っの会話が自然とできるようになります。

## ■英会話が不安でも…

この講座を担当する Jackie の英語はとても聞き取りやすいので、英語力に不安があっても問題なく受講できますが、自分の意見をしっかりと発言することが求められます。一見難しいことのように感じるかもしれませんが、生き残りゲームや街角インタビューを通して、楽しく、英語で発言することが身につきます。英語が不安な方でも、楽しい授業と先生の優しさ、そして分からないことを教えあう仲間の存在で、この授業を最大限楽しむことができます。

R.E

## ■English for Legal Purposes を受けての感想

イギリス法を聴講形式で知識として学ぶ他の講座に比べ、English for Legal Purposes は、よりリラックスして英会話が学べる、双方向のやりとりのある授業だと感じました。僕自身、English for Legal Purposes の授業はとても楽しく、イギリス法についてガンガン学んでいく他の講義の間の気分転換になったし、生の英語に触れ、話すことができる魅力的な授業でした。

講師の Jackie や研修参加者の仲間たちとの距離も自然と縮まる内容で、特に初回の授業では、近くの公園にでて自己紹介を兼ねたゲームを行ったことで、とても緊張が和らぎました。生き残りを決めるゲームなどで、面白いゲームをしながら英語を話すので、とても楽しく、熱中することができ、次第に積極的に発話することができるようになります。

グループに分かれてキャンパス内外でのアンケートを取りや、2人ずつになって、家の間取りを当てるゲームもありました。この、キャンパス内外の外国人にアンケートを取るというのは、はじめはハードな感じでしたが、やってみたら意外となんとかなりましたし、その後アンケート結果を分析し、各グループで発表しましたが、しっかりと英語で考えることができました。それぞれのグループがユニークなアンケート、発表を行っていて面白かったです。また、家の間取りを当てるゲームでは、相手に背を向けて英語で内容を正確に伝えて、二人の認識を一致させなければなりません。机の場所、窓、ベッドの場所など微妙なニュアンスを伝えるのが難しかったですが、一生懸命何とかして伝えようとしながら、楽しく行うことができました。

また、この授業では、早期に、ノートの取り方、legal essay の書き方について教わります。特に legal essay は、法学研修を行っていくうえで避けては通れないものなので、とても助けとなる授業でした。 S.O

In support of the law lecture course and guest lectures, all students also take a legal English language class as a major part of the programme. In this article, I will tell you about this part of the experience.

I liked Language class the most of all the Cambridge classes. Language classes are small group classes, so it is easy to communicate with our teacher, Jackie and other students. It was very comfortable. In the class, various important topics were taken up, for example, how to write a legal essay. But two topics impressed me the most.

The first is presentation skills. In order to make the presentation, we had to decide the theme and ask native people about various questions we thought of. It was difficult to think of good questions and, moreover, I was so nervous about speaking to local people who I had never met before. However the people in Cambridge were so kind to us that eventually I became relaxed. After conducting our research, we analyzed the results and put it in order. It took a long time because the results differed a little between English people and Japanese people. It was tough to get the presentation ready, however it was good experience for me because I had never done one before.

The second topic that impressed me was a survival game. In this game, we are assigned some roles, for example the role of a teacher or doctor and so on. Then we debated about who should survive. My role was an English teacher. I



enjoyed it and I got into my role. However an English teacher was found to be hopeless at surviving because she didn't know any survival skills, however good she was at teaching. As the result, I died at an early stage. I think in this game the most important point to survive is to be able to explain why you should survive.

To sum up, the language class was not only fun for me, but I could also learn various practical skills through activities like presentations and games. Y.M